

1年間の植物との関わりを通して、主体的で個別最適な授業を目指す試み**～ ICTを活用した探究・話し合い、学習方法・学習形態の選択 ～**

小学校1年生の1年間の植物との関わりを通して、「え、どうして?」「あれ?思っていたのと違うぞ!」という疑問から学習に取り組み、ICTを活用した観察・話し合いや、児童が自ら学習方法や学習形態を自由に選択する活動を取り入れた授業実践を試みた。

1 実践の具体**① 教員の投げかけとICTを活用した探究・話し合い活動**

疑問や既成概念とのギャップがもてるような発問や自作教材を準備し、ここぞというタイミングで投げかけた。様々な観察結果が出るように仕掛け、植物の観察後、新しい見方・考え方を知り、活発な話し合いになるように、児童の画像やワークシートを電子黒板に一覧で表示した。

② 学習方法・学習形態の選択

主体的で個別最適な学びになるように、一人一人が、これまでに経験してきた学習方法、学習形態を自分で選択する授業を行った。学習方法では、ワークシートかタブレットの2つから選択し、学習形態では、「個人、ペア、グループ」の3つの中から選択した。

2 実践の成果と今後の方向性

7か月間の実践で、「生活科の授業が楽しい」「話し合いが好き」という児童が100%となった。また、自分たちで疑問を見付け、答えを見付け出そうとする学びの探究心が育った。生活科の活発な話し合いが、他教科等の学びへと広がり、すべての児童が最後まで主体的に授業に取り組めるようになった。児童同士の相互作用の中で個別の支援が減った。

さらなる個別最適で主体的な授業の推進のために、単元を通した児童自作のめあて作りと評価表作り、そして自分で学んだことを全体に発表する場の設定を現在試みている。